

こまき市民文化財団設立趣意書

文化は、長い歴史の中で、そこに住む人々の手で生まれ、建物、自然、風景、風習、芸能、食などが相まって地域らしさを醸しだし、何代にもわたって引継がれてきました。

小牧市では、『市民とともにつくる文化のまち こまき』を基本理念とし、多様化する市民ニーズのもと、さまざまな文化事業を実施してまいりました。その活動は大きくひろがり、「観る文化」だけでなく「参加する文化」へとひろがってきています。

また、市のシンボルである小牧山は、「小牧・長久手の戦い」で徳川家康軍の本陣として利用されるとともに、織田信長が天下統一へ向けて第一歩を踏み出した歴史的な地であり、近年の発掘調査により、信長が自ら初めて築いた石垣が見つかるなど、近世城郭のルーツではないかとして、その評価が高まりつつあります。

少子高齢化が進み、人口減少もみられる時代にあって、豊かな歴史や文化を守り発展させ、次の世代へ引継ぐことは、ふるさとに愛着を持ち、生きがいをもって心豊かな生活を送るために欠かすことができません。

市民の創造意欲を尊重し、活発な活動を促進するためには、文化芸術団体や文化関係者の活力と協力を得て、これからの時代にふさわしい文化活動を充実していく必要があります。

そのため、専門的な知識や経験と、より柔軟で効率的な運営が可能な体制のもと、市民の自主的な文化活動を支援し、市民と共に新しい小牧の文化を創っていくことを目的として「一般財団法人こまき市民文化財団」を設立しようとするものであります。

平成29年1月18日

一般財団法人こまき市民文化財団
設立代表者
小牧市長 山下 史守朗